

今回のバトンコラムはホームページでお知らせしています「インターンシップセミナー」に3月参加された方々の感想です。



〈日程〉

H24年3月22日・29日（30日）

〈参加状況〉

3/22 2名（県外の大学・地元出身）  
3/29 4名（県外の大学及び専門学校・長野県  
看護大学編入生・地元出身1名・県内1名・  
県外2名）  
3/30 2名（県内外大学・地元出身）

〈応募のきっかけ〉

インターネット ホームページ・・・3名  
学校に送られた病院の紹介パンフレット・・・1名  
合同就職説明会・・・2名  
就職サイト(ナース専科)・・・1名

**皆さん、いろんなきっかけなど背景を持って参加されました。**

～ 参加者の感想 ～ （一部抜粋）

実際の看護の様子を見学でき、患者さんの関わりだけでなく、カルテやスタッフステーションでの様子が見学でき良かったです。また、病棟のレクリエーションにも参加させていただき、看護師の違う一面が見られたこともあまりない機会良かったです。

病棟でのケアの様子・患者さんとの関わり方、業務の様子、職員同士のつながりや声かけなど多くの発見をすることができました。先輩看護師の話なども聞くことで様々な面から病院を見ることができました。



日程は1日だけではなく2、3日くらいにしてほしいです。（遠方からの参加者より）それでも具体的な仕事内容がわかったうえに、丁寧でわかりやすく説明してくださりありがとうございました。

病院のスタッフ・患者さん・外部の業者さんすべての人に挨拶をしていて、スタッフの皆さんが親切でとてもよい雰囲気だと感じました。また、地域の病院として患者さんだけでなく地域のすべての人々に医療を提供しともに健康に取り組んでいるのだと感じました。穏やかな時間が流れているように感じました。外科病棟においても患者さん一人ひとり言葉を交わしたり、家族の方とお話などの時間もあり、また職員同士が声をかけ合い、ケアがスムーズに終わるように分担している姿が印象深く感じました。看護師さんも忙しそうだなと思いましたが、一人ひとり患者さんの顔を見て声かけをし、とても丁寧に対応していた為、良い雰囲気だと感じました。やさしい方々でチームの雰囲気もとても良かったです。

看護師さんと実際に行動を共に見学することができ、援助の基本はしっかりと身につけた上で行うことの重要性を学びました。又援助は日々の患者さんの観察を積み重ねなければ、その患者さんの個別性のある援助は提供できないことを学びました。学校に戻ってもっと基礎をつまなければと思いました。(一年生)

病院の特徴を知ることができ、担当してくれた方も病院の話以外に地域の話や就職活動にあたっての話などとても参考になりました。職員の方々も落ち着いており、笑顔も素敵で雰囲気もとても良かったです。丁寧に対応していただきありがとうございました。



インターシップセミナーは今後もまだ続きます！  
是非当院にお越し下さい。お待ちしております！

— 看護部長：石田洋子 —